

「二点DO」が経産大臣賞

JS

前澤・高知大と開発

日本下水道事業団（JS）が前澤工業、高知大学と共同で開発した「二点DO制御を用いた省エネ型OD装置」が、産業機械工業会主催の「第47回優秀環境装置表彰」で経済産業大臣賞を受賞した。写真。



ることで、処理水質が安定化し、消費電力も削減できる。

一時的な流量超過や流入水質の変化などによる高負荷運転にも対応が可能で、既存の処理施設を有効活用しながら、人口減少による長期的な水質変動に応じた「汚水処理の最適化」を実現する。

JSの新技术I類には

反応タンク内の溶存酸素（DO）濃度の勾配を一定に制御できる点が特長。好気ゾーン・無酸素ゾーンを安定的に形成す

「OD法における二点DO制御システム」として選定され、これまでに8件の受託建設事業で導入が決まり、うち6件で供用を開始している。

受賞歴としてはこれまで、第8回国土交通大臣賞（循環のみち下水道賞）のグランプリをはじめ、日本水環境学会技術賞、科学技術振興機構「STI for SDG S」アワード優秀賞に選ばれている。

水 道 産 業 新 聞

2021年（令和3年）8月5日（木曜日）